

2014年7月25日

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議  
議長 野田 起一郎 殿

「堀内吉久さんに関する事実関係について」に関する補充質問

薬害オンブズパーソン会議  
代表 鈴木 利 廣

全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会  
代表 松 藤 美 香

<回答送付先>

薬害オンブズパーソン会議事務局  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-4 AMビル4階  
電話03(3350)0607 FAX03(5363)7080  
e-mail yakugai@t3.rim.or.jp  
<http://www.yakugai.gr.jp>

このたびは、2014年7月18日付FAXにより「堀内吉久さんに関する事実関係について」のご回答（以下、「追加回答」と表記）を頂きありがとうございました。

お伝えしておりましたとおり、ご回答は薬害オンブズパーソン会議ホームページにて公開させて頂き、あわせて当会議及び全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会の見解を公表する予定ですが、追加回答には、一部ご趣旨の不明な部分がありました。正確な事実関係の認識に基づいて議論を進めたいと考えますので、別紙の補充質問事項へのご回答をお願いする次第です。

つきましては、2014年8月5日までにご回答下さいますようお願い致します。

追加回答は、本補充質問に対するご回答と併せて薬害オンブズパーソン会議ホームページに公開させて頂きます。

よろしくお願い致します。

## 補充質問事項

### 1 追加回答1について

2014年7月17日付公開再質問書（以下、「再質問書」と表記）において、堀内氏が、現在、GSK社と資本関係または取引関係がある会社に在籍しているかどうかをお尋ねしたのに対し、「現在、GSKまたはGSKと資本関係にある会社には在籍していない」とのご回答であり、GSK社との取引関係の存在については否定されていないとも思われますが、ご趣旨が明確ではありません。

現在堀内氏が在籍している会社とGSK社との取引関係の有無についてご回答下さい。

### 2 追加回答2について

再質問書では、「堀内氏のGSK社における役職及び担当業務。特に、サーバリックスに関連する業務に従事していたことの有無」をお尋ね致しましたが、堀内氏がサーバリックスに関連する業務に従事していたかどうかについてはご回答がありませんでした。

堀内氏はサーバリックスの販売開始（2009年12月）の8か月前（同年4月）に退社されたとのことですが、医薬品のマーケティング計画は市販前から策定が進められているものと考えられます。

堀内氏が、GSK社に在籍中、サーバリックスに関連する業務に従事していたことの有無についてご回答下さい。

### 3 追加回答3について

(1) 堀内氏は、貴会議ではACT事業の委託を受けているとのご回答ですが、ACT事業全体が堀内氏への委託により行われているのでしょうか。あるいは、ACT事業に含まれる特定の事業を堀内氏に委託されているのでしょうか。

(2) 堀内氏へのACT事業の委託は2011年1月からとのご回答ですが、現在も委託は続いているのでしょうか。

(3) 「子宮頸がん征圧連携ACT」のウェブサイトには、「NEWS」欄に2件のセミナーの案内が掲載されているほかには、「活動情報」のページ及び「取り組み事例」のページがいずれも「準備中」となっており、どのような事業が行われているのか不明です。

貴会議からの委託により堀内氏が実施した具体的な事業をご回答下さい。